

令和7年度第三者評価 改善状況報告書

令和8年3月31日

施設名	港区立芝高齢者在宅サービスセンター（認知症対応型通所介護）	施設所管課	保健福祉支援部 高齢者支援課
所在地	港区芝3-24-5	指定管理者	医療法人財団 湖聖会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 （共同事業者の場合記入）	令和8年3月までの改善状況等 （指定管理者記入欄）	令和8年4月以降の取組予定 （指定管理者記入欄）	所管課確認欄 （施設所管課記入欄）
施設が求める人材を確保するため、法人による職員の新規採用や計画的な中途採用も行われている。また、施設が求める職員の職責やキャリアパスは、職員行動指針・個人目標管理シート・キャリアラダー・介護職員チェックリスト等に明示され、職種別・階層別の研修計画に基づき職員の人材育成計画が策定され、職員の経験年数に応じた資格取得支援など人材マネジメントが行われている。今後、職員ひとり一人の意向や経験等が記載された個人目標管理シートに基づく研修受講や施設面談の充実を図ることにより、職員のスキル育成の更なる向上が望まれる。		年度の途中での個人目標設定、達成具合、評価へつなげることが難しいと判断し、個人目標管理シートの作成には至らなかったが、研修への参加や施設面談の充実を図り、職員のスキル向上に努めた。	年度開始時に法人の事業計画、施設の事業目標を職員に周知し、個人目標管理シートの作成につなげ、定期面談による上期、下期での達成確認、評価を実施する。	研修・面談の充実により一定の人材育成は図られている。今後は、年度当初から個人目標管理シートの作成と定期面談を確実に実施し、目標設定・達成確認・評価を一体的に運用することで、職員の育成効果の更なる向上が望まれる。
施設運営に必要な情報の収集・利用・保管・廃棄の規程等は、港区のルールを遵守すると共に全職員への研修等により周知している。また、個人情報の取扱いは、港区個人情報保護方針に基づき、全職員から誓約書への署名を義務付けている。収集した情報は重要性や機密性を踏まえ、データ情報はPCのID・PWによるアクセス制限、紙情報は施錠付き書棚で保管し、情報漏えい防止を図っている。今後はさらに、介護サービス情報の一元化により、介護職員の介護サービス情報入力削減による介護職員の職務負担を軽減していくことが望まれる。		介護情報記録を現状どのようにしているのか見直し、重複している内容、記録の必要性のない内容等を確認、精査し、次年度に介護情報記録の入力内容削減につなげられるよう努めた。	紙媒体やデータ入力での介護情報記録を、必要最小限とすることで、職務負担軽減に努める。また、更なる職務負担減となるよう、介護記録システムの導入を検討する。	記録内容の精査による業務効率化への取組は評価できる。今後は、記録の標準化・一元化を進めるとともに、介護記録システムの導入も含め、職員の負担軽減と業務効率の一層の向上が望まれる。
利用定員10名に対し、毎回5～7名の利用という状況が続いている。費用の問題や認知症対応型通所介護（一般的には認知症デイサービス）という言葉がもたらす印象など、利用者本人や家族からも受け入れにくい状況も考えられるので、事業所情報の発信の際には、サービス利用によって得られた効果や一般のデイサービスとの違い、実際に雰囲気なども紹介し、地域の中でより理解を得られるような取組が望まれる。		施設内での活動やお出かけ時の様子をホームページに掲載し、雰囲気の紹介に努めた。また、問合せがあった際は見学を促し、理解を得られるよう努めた。	引き続き施設内での活動の様子等をホームページ等で情報発信を行うとともに、問合せ時には、見学の促しを続け、理解を得られるよう取り組む。	広報や見学案内の取組は実施されているが、利用促進には更なる工夫が必要である。サービスの特徴や効果を具体的に発信するとともに、地域関係機関との連携を強化し、認知症デイサービスへの理解促進と利用者確保が望まれる。